

オロフレ山（1000m鞍部まで）

日 程 令和3年3月 7日（日）

参加者 スノーシュー班 CL 小山内 SL 宇田

川村 及川 笹山 栗山 小笠原 増川 竹内 八重樫 （10名）

行程時間 登り2時間 下り1時間半（昼食時間30分） 標高900m迄）

9：30 登山開始

久しぶりのスノーシュー登行で少し緊張するけど、何だかワクワク。

何処までも歩いて行けそうな気がしてきます。

9時にゲートが開くのを待ち ヘヤーピンカーブの所に車4台駐車して、そこから直ぐ取りつきます。

”1番“、”2番“、”3番“と9番まで、ちなみに自分は4番。号令で人数確認して出発。

30分も登ると 左側に小さな沢のある林道に出ました。その林道を少し下ると、いよいよ本格的な登りです。先を行くスキー班は 表面が固くなった雪面でシールが滑るようです。スノーシューは ツメが付いているので その心配もなく皆 順調に登って行きます。

斜面が少し緩やかになってきた辺りで “海が見える!!”振り返って見ると、かすかに太平洋か?～ 若いUさんの目は瞬時に分かるのですね～

左側には羅漢岩かしら?複雑な形をした岩峰が見えています。

（後で確認するも 羅漢岩は その陰に在りました。）

ここはスキー班にとって 良いゲレンデになりそうだわ～



更に登って行くと、雪面が風に叩かれて固く波状になっています。

スキー班は鞍部でアイゼンを装着しています。

人足先に956mポコの裾を巻くように登って行きますが 直ぐにスキー班が追い越して行きます。

斜面が北向きが変わってくると、雪面が厳しくなってきました。右側は深い沢です。

スノーシューでのトラバースは 気が抜けません。

この先も暫く続きますとのこと。

標高900m辺りでリーダーは撤退を決めました。

先を行くスキー班に 撤退の合図をして 回れ左で向きを変え標高840m辺りの鞍部迄 下ります。この辺りで昼食でしょうか？

スキー班は何処まで進んで行ったのでしょうか。

いつの間にか山頂付近が見えています。

見れば見るほど急登ですね～ そこに黒い点が二つ 登る人と降りる人の姿があります。



12:20 昼食を済ませて下山開始

歩き始めて20分も過ぎた頃 “なにか声がしなかった？”とSさん
ふりかえって見ても何も見えませんが 再びみるとスキー班の姿が
次々と滑り降りて来ていました。

みんなで注目です!!

ステキ斜面からは リーダーの『スノーシュー班もドロップインだ!!』
の掛け声にみな スキー班に負けまいと降りていきました。

13:00 登山口着

13:20 カルルス駐車場にて解散

駐車場から見えるオロフレ山は 真青な空を背に
白く輝いていました。

冬のオロフレ山は近くに在って 遠い山ですね。

リーダーはじめ皆さん 楽しい山行有難うございました。

(記 八重樫)

